

建設課の目標（平成19年度）

建設課長 布施 秀夫

1 課の役割

建設課は、管理班、協働推進室で構成され、交通安全対策、防犯街灯整備・維持管理、自転車等駐車場の維持管理、建築確認等の指導、町道の整備・維持管理等住民生活に密着した役割を担っています。

また、千葉県より委託を受けて、酒々井IC整備促進事業を行っています。

2 個別事業とその目標

1 道路の維持・管理（管理班）

町道については、緊急性のあるもの中期・長期的なものに分けて維持管理計画をたて、限られた予算内で有効的な維持管理を行い、定期的な道路パトロール及び地域住民の要望を受け、道路補修・側溝清掃・除草等可能な範囲を職員で行うなど、道路機能の維持等について迅速な対応を図ります。

また、橋梁については、平成21年度までに橋梁調査を行い、平成23年度までに修繕計画をたて順次補強整備を行い、通行の安全を図ります。

〔H19年度の実績〕

- ・ 道路維持工事 57件
- ・ 街路樹管理委託
- ・ JR線こ線橋落橋防止事業 3橋（台橋、伊篠大橋、上ヶ作こ線橋）

2 防犯街灯整備事業（管理班）

町管理防犯街灯については、適正に維持管理を行い、犯罪や交通事故の防止を図り、安全な環境を整備します。

自治会管理防犯街灯の電気料金・修繕料について、電気料金は費用の70%、修繕料は費用の50%の補助を行います。また、新規設置及び全改修については、費用の50%の補助を行いますが、全ての要望に対応できないため、設置後の効果が高い箇所を選択し、地域住民の夜間の防犯及び交通安全の推進を図ります。

〔H19年度の実績〕

- ・ 自治会管理防犯街灯設置補助 93灯

3 交通安全対策事業（管理班）

道路標識・道路反射鏡・ガードレール・車止め等の交通安全施設については、定期的な道路パトロールを実施すること及び地元からの連絡により、補修箇所を確認し適正な維持管理を行います。なお、最小の経費で最大限の効果をえられる施工を実施します。

交通安全施設の新設については、道路パトロール及び地域住民からの要望や自治会からの要望を受け、最優先箇所に設置することにより、道路の円滑な通行及び交通安全施設の充実を図ります。

〔H19年度の実績〕

- ・ 交通安全施設工事 8件
- ・ カーブミラー新設 8基、補修 4基
- ・ ガードレール補修 1箇所、車止め補修 2箇所、道路標識補修 2箇所
- ・ 区画線設置 L = 45.6m、交差点内区画線補修 6箇所

4 酒々井IC整備促進事業（協働推進室）

酒々井ICの早期完成を目指し、県より委託を受けて、地元対策・用地買収を行います。

〔H19年度の実績〕

- ・ 計画面積 105,824m²
- ・ 買収済面積 43,255m²
- ・ 買収済割合 40.9%

実績数値は平成20年2月20日現在の数値です。

5 チャレンジ目標

落橋防止工事については、国の補助対象となる高速道路、鉄道及び緊急輸送道路を跨ぐ6橋について、平成17年度から19年度の3ヵ年で工事を完了しましたが、耐震補強対策の第2段階となる橋脚の耐力の確保を行う橋脚補強工事として、東関東自動車道の南酒々井橋及び平台橋、JR成田線を跨ぐ伊籾大橋の橋脚補強工事の実施に向け検討していきます。

また、その他の町管理の橋梁について、橋長15m以上の道路橋のうち、建設後30年を越える橋が8橋あり、国の方針により、市町村が行う平成26年度以降の橋梁の修繕、架け替え事業の補助金採択については、「長寿命化修繕計画」の策定が条件となっており、町としても修繕計画策定の前段となる橋梁点検を実施することにより橋梁の健全度を把握し、予防的な修繕に向け長寿命化修繕計画の策定を進めていきます。

特に、町道02-012号線（尾上飯積線）が高崎川を渡る飯積橋は老朽化による破損状況が著しいため早期の対応に向け検討していきます。

〔H19年度の実績〕

- ・ 飯積橋橋梁調査業務委託
（現地踏査・橋梁詳細調査・鋼材厚調査）